

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際医療福祉専門学校七尾校
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	116 単位	9 単位	
	救急救命学科	夜・通信	69 単位	9 単位	
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	89 単位	6 単位	
(備考) 作業療法学科：平成31年度より募集停止 令和3年度より学生在籍人数0人					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

情報公開 国際医療福祉専門学校七尾校 (kifs-nanao.ac.jp)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際医療福祉専門学校七尾校
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

情報公開 国際医療福祉専門学校七尾校 (kifs-nanao.ac.jp)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤 の別	前職又は現職	任期	担当する職務 内容 や期待する役 割
非常勤	(前職) 市議会議員	始 令和4年4月1日 終 令和8年3月31日	外部評価
非常勤	社会福祉法人役員	始 令和4年4月1日 終 令和8年3月31日	外部評価
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際医療福祉専門学校七尾校
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>○授業計画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画書(シラバス)は、学科長の指示のもとに各教科担当教員が作成している。 ・ 授業計画書(シラバス)の作成にあたっては、救急救命士学校養成所指定規則及び理学療法士養成施設指定規則等、国が定める基準を踏まえつつ、本校の教育理念や目標が実現できるように作成し、校内における職員会議で調整している。 ・ 担当教員が作成した授業計画書(シラバス)は、職員会議で調整し決定している。 <p>○授業計画の公表</p> <p>決定した授業計画書については、毎年度初めに学生に配布するとともにHP等で一般に広く公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績の評価及び単位認定に関する規定は、学則及び細則に記載しているが、その概要は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業科目の成績評価は、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し、単位認定会議を経て学校長が評価、認定する。但し、出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者は、その科目については評価を受けることができない。 ・ 各科目の成績評価は、試験結果、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価は不可とする。成績評価は「秀」、「優」、「良」、「可」、「不可」で表し、「不可」は科目認定不可とする。 ・ 当該学年において、履修すべき科目修了認定を受けている者を進級させる。 <p>これらの方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。</p>	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

○成績評価の指標の設定

- ・科目の成績評価の指標は、次のとおりとする。

成績評価の指標				備考
評語 (成績表示)	評定点	100点満点での目安	単位認定 の可否	
秀	4	90点以上	可	点数は本試験 (再試験を含む) 及び追試験と する。
優	3	80点以上 90点未満		
良	2	70点以上 80点未満		
可	1	60点以上 70点未満		
不可	0	60点未満	不可	
対象外	評定 対象外	出席時数不足や試験放棄等で評価を与えられないもの		

○成績の分布状況の把握

- ・当該学期における履修科目の点数を合計し、それを対象科目数で除して得られる数値を『学期平均値』とし、学科内における各学生の成績分布の指標とする。
- ・この基準により客観的な指標を設定し、数値を算出して、適切に実施している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

情報公開 | 国際医療福祉専門学校七尾校 (kifs-nanao.ac.jp)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

○卒業認定に関する方針の策定

本校においては、以下のとおりディプロマ・ポリシー（卒業認定・称号授与方針）を策定している。

本校においては、卒業に必要な単位を修得し、それぞれの業務に必要な専門知識・技術と豊かな人間性を持つ社会人として、以下に示した技量と知識を習得した者に対し卒業を認定し、専門士の称号を授与する。

- 生命の尊さを重んじ、人の苦しみや痛みを理解し、豊かな人間性を身に付けている。
- それぞれの分野の専門知識や技術を身に付け、必要としている人々を支援できる能力を身に付けている。
- 医療機関や地域において、他の医療専門職者と連携し、関係者との間で調整できる能力を身に付けている。
- 卒業後において、職の重要性を認識し、さらなる知識や技術を習得しようとする向上心を身に付けている。
- いかなる場面においても、冷静・沈着に対応できる能力を身に付けている。

○卒業の認定方針の公表

卒業認定方針については、本校ホームページで公表する。

○卒業の認定方針の適切な実施

上記の方針のもとに、所定の修業年限以上在籍し、当該学科の全科目の履修し、卒業試験に合格した者について、卒業判定委員会において判断する。この方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

情報公開 | 国際医療福祉専門学校七尾校 (kifs-nanao.ac.jp)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際医療福祉専門学校七尾校
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	財務状況 国際医療福祉専門学校七尾校 (kifs-nanao.ac.jp)
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療		医療専門課程	理学療法学科	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼間	126 単位	73 単位		53 単位	
			126 単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
105 人		53 人	0 人	5 人	14 人	19 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）
<ul style="list-style-type: none"> 科目名、開講時期、単位数及びコマ数、授業区分、担当教員、目標、授業概要等を記載した授業計画（シラバス）を作成している。 初回の講義時に、授業の到達目標等を示している。

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学則及び細則において、各科目の修了試験の実施方法、受験資格、単位認定の方法、教育課程の履修及び卒業に関して定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各科目の成績評価は、修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、総合的に勘案して行う。 修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価は不可とする。 修了試験の結果が60パーセント未満の者への再試験の受験機会を与えている。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 進級を満たすためには教育課程で示してある各科目において、各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達した者が各科目の成績評価を受けることができる。 各科目の修了試験、再試験において、60%以上の結果を得たものが合格となり、各学年の履修科目全てにおいて合格となり、修了認定を受けた者が進級となる。 当該学科の全科目の修了認定を受け、かつ卒業試験に合格した者に卒業を認める。
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>特になし</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	16人 (89%)	2人 (11%)
(主な就職、業界等) 総合病院、一般病院			
(就職指導内容) 就職試験対策講座を開講し、履歴書の記載方法、小論文、面接対策指導を実施 過去の受験生の就職試験データを元に筆記試験対策を実施している 学生ロビーに求人先の掲示、校内に就職情報ブースを設置している			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士、初級障害者者スポーツ指導員資格、福祉住環境コーディネーター2級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54人	5人	9.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、成績不振、家庭の事情、転学科の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 常に学生の学業及び生活状態の把握に務めている。 また、成績不振者等に対しては必要に応じて補講や個別面談を実施するとともに、状況によっては保護者との三者面談を実施し、情報交換を行い、学生の成績向上とともに普段の生活の安定に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療		医療専門課程	救急救命学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼 間	92 単位	60 単位		32 単位	
			92 単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
105人		46人	0人	2人	21人	24人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・ 科目名、開講時期、単位数及びコマ数、授業区分、担当教員、目標、授業概要等を記載した授業計画 (シラバス) を作成している。 ・ 初回の講義時に、授業の到達目標等を示している。
成績評価の基準・方法
(概要) ・ 学則及び細則において、各科目の修了試験の実施方法、受験資格、単位認定の方法、教育課程の履修及び卒業に関して定めている。 ・ 各科目の成績評価は、修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、総合的に勘案して行う。 ・ 修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2 (実習においては5分の4) に達しない者についての成績評価は不可とする。 ・ 修了試験の結果が60パーセント未満の者への再試験の受験機会を与えている。

卒業・進級の認定基準
(概要) <ul style="list-style-type: none"> 進級を満たすためには教育課程で示してある各科目において、各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達した者が各科目の成績評価を受けることができる。 各科目の修了試験、再試験において、60%以上の結果を得たものが合格となり、各学年の履修科目全てにおいて合格となり、修了認定を受けた者が進級となる。 当該学科の全科目の修了認定を受け、かつ卒業試験に合格した者に卒業を認める。
学修支援等
(概要) 特になし

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	7人 (87.5%)	1人 (12.5%)
(主な就職、業界等) 地方公務員(消防官)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等)) 救急救命士、初級障害者者スポーツ指導員資格、JPTECプロバイダー資格 BLS資格、潜水士資格、危険物取扱者資格、赤十字救急法資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	5人	12.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 常に学生の学業及び生活状態の把握に務めている。 また、成績不振者等に対しては必要に応じて補講や個別面談を実施するとともに、状況によっては保護者との三者面談を実施し、情報交換を行い、学生の成績向上とともに普段の生活の安定に努めるとともに、中退につながる要因の除去に努めている。		

--

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	93 単位	71 単位	12 単位	10 単位		
			93 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		12 人	0 人	3 人	8 人	11 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 科目名、開講時期、単位数及びコマ数、授業区分、担当教員、目標、授業概要等を記載した授業計画 (シラバス) を作成している。 ・ 初回の講義時に、授業の到達目標等を示している。
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学則及び細則において、各科目の修了試験の実施方法、受験資格、単位認定の方法、教育課程の履修及び卒業に関して定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各科目の成績評価は、修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、総合的に勘案して行う。 ・ 修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2 (実習においては5分の4) に達しない者についての成績評価は不可とする。 ・ 修了試験の結果が60パーセント未満の者への再試験の受験機会を与えている。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進級を満たすためには教育課程で示してある各科目において、各科目の授業時間数の3分の2 (実習においては5分の4) に達した者が各科目の成績評価を受けることができる。 ・ 各科目の修了試験、再試験において、60%以上の結果をえた者が合格となり、各学年の履修科目全てにおいて合格となり、修了認定を受けた者が進級となる。 ・ 当該学科の全科目の修了認定を受け、かつ卒業試験に合格した者に卒業を認める。

学修支援等			
(概要) 特になし			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	17人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 老人福祉施設			
(就職指導内容) 就職試験対策講座を開講し、履歴書の記載方法、小論文、面接対策指導を実施 過去の受験生の就職試験データを元に筆記試験対策を実施している 学生ロビーに求人先の掲示、校内に就職情報ブースを設置している			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士、初級障害者者スポーツ指導員資格、福祉住環境コーディネーター2級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 常に学生の学業及び生活状態の把握に務めている。 また、成績不振者等に対しては必要に応じて補講や個別面談を実施するとともに、 状況によっては保護者との三者面談を実施し、情報交換を行い、学生の成績向上ととも に普段の生活の安定に努めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	290,000 円	880,000 円	450,000 円	
救急救命学科	200,000 円	780,000 円	450,000 円	
介護福祉学科	180,000 円	590,000 円	260,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
自己点検・評価報告書 国際医療福祉専門学校七尾校 (kifs-nanao.ac.jp)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> 学校関係者評価委員会の構成は下記の8名による。 評価項目は、1. 教育理念・目標、2. 学校運営、3. 教育活動、4. 教育成果、5. 学生支援、5. 教育環境、7. 学生募集活動、8. 財務、9. 法令等の遵守、10. 社会貢献・地域貢献の10項目。 学校関係者評価委員会が出された意見については、次年度以降の学校運営の方針や目標を策定する際には意見を踏まえて策定するとともに、日常においても意見を反映するように努める。 また、教職員間で情報を共有し、課題の優先度を勘案し、改善可能な項目から随時、改善するように務める。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
七尾市役所	始 令和4年4月1日 終 令和5年3月31日	七尾市代表
社会福祉法人 七尾市社会福祉協議会 会長		地域住民代表
後援会 会長		在学生保護者代表
はまなす園 特別養護老人ホーム		実習施設関係者
公立能登総合病院		実習施設関係者

市立輪島病院		実習施設関係者
津幡消防署		実習施設関係者
特別養護老人ホーム 鹿寿苑		実習施設関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
学校関係者評価報告書 国際医療福祉専門学校七尾校 (kifs-nanao.ac.jp)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
ホームページアドレス http://kifs-nanao.ac.jp/

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	国際医療福祉専門学校七尾校
設置者名	学校法人阿弥陀寺教育学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		－人	－人	13人
内 訳	第Ⅰ区分	－人	－人	
	第Ⅱ区分	－人	－人	
	第Ⅲ区分	－人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				13人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
年間	0人
前半期	0人
後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給
付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより
認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。